

(時時刻刻) 五輪、3兆円規模? 検査院「国支出8000億円」指摘

2018年10月5日05時00分

シェア 1

ツイート list

ブックマーク 0

スクラップ

メール

印刷

紙面ビューアー | 面一覧

最新の朝刊紙面

東京 2018年10月05日 金曜日

地域面紙面

天声人語

社説



各本朝刊紙面

朝夕刊バックナンバー



最近の大会の開催経費

国家的イベントの開催を支えるのに、どれほどの費用がかかるのか。4日に発表された会計検査院の調査結果などを合わせてみると、2年後の東京五輪・パラリンピックの関連経費は3兆円規模になる。ただ、大会組織委が公表するのはその半分程度。「総額」の出し方の違いには、主催者の苦悩も見え隠れする。▼1面参照

■組織委より、広く線引き 競技力向上・セキュリティ…

「道路輸送インフラの整備1389億円」、「競技力の向上456億円」、「大会運営に係るセキュリティの確保69億円」――。会計検査院が各省庁に、東京五輪・パラリンピックに関連した事業項目の提出を求めたところ、その数は286に上った。

「世界コンパクトな五輪に」。そんな理念を掲げて招致を実現した東京大会。招致前の2013年1月に国際オリンピック委員会（IOC）に提出された立候補ファイルでは、大会経費は8299億円と試算されていた。それが16年12月には約1兆5千億円と倍近くに膨らんだ。17年12月時点では1兆3500億円となっている。

このうち国負担分は約1500億円。検査院の今回の調査結果は、既にこの約5倍もの国費が五輪関係で支出されていたことを示している。検査院は、国家的な事業の全体的な経費について「透明化」を求める必要がある、と強調。大会推進本部事務局には「国民に周知し、理解を求めるため、行政経費によるものも含めて整理し、全体像を対外的に示すこと」を求めた。

一方、大会運営にかかわる政府関係者は、検査院が今回関連予算として指摘した項目に、エコカー購入への補助金や気象衛星の打ち上げ経費などが含まれていることを疑問視。「これらはたとえ大会があつてもなくても取り組んでいた事業。大幅な支出増との指摘はミスリードにつながりかねない」と反論する。

検査院は「検査した範囲では、大会に便乗しただけの事業や、大会と関係のない事業は見つからなかった」としている。（田内康介、野村周平、前田大輔）

■少なく見せたいIOC

過去大会を見ても、五輪経費の線引きは難しい。競技場付近の交通網整備などを含めるかどうかなどについて、一定の決まりはない。そして、経費の増加はIOCにとって、頭痛のタネになっている。

近年、五輪が開催都市の財政を圧迫するとして、招致熱が冷え込んでいるからだ。IOCの危機感が高まったのは2015年7月に北京がアルマトイ（カザフスタン）との一騎打ちに勝った22年冬季五輪。当初、8都市が興味を示したが、ミュンヘン（ドイツ）

PR 注目情報



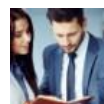
乙葉さんと考える

子どもの習いごとに関心を持っています。「ワーコ・フェス」申込はこちら



悪性リンパ腫を知ろう

正しい理解と患者さんの支援のため 専門家に話をうかがいました



年収2000万円特集!

普段あまりみない求人多数掲載中 ハイクラス転職サイト/ビズリーチ

首都大、一橋大、九大、熊大ほか

注目の国立大学13校の「いま」

東原亜希さん、横山だいすけさんほか

豪華ゲストと考える「働く」「子育て」

TKI総選挙、結果報告

名称は『築地場外市場』に決定!

妊活サポートの輪をひろげるために

女性が活躍する輝く社会を目指して

アクセスランキング

もっと見る

読まれています

昨日のトップ5

HageXさん刺殺、殺人罪で容疑者起訴へ 福岡地検

高3カップル、2人きりの自宅 震える彼女に手をかけた

台風25号、6日に九州北部へ最接近 5日から警戒を

ノースリーブのドレスが… HISハワイ拳式中止に花嫁

ツ)、サンモリッツ(スイス)は立候補締め切り前の住民投票で断念に追い込まれ、その後も撤退が続いた。

立候補都市がなくなれば、五輪の火は消える。IOCは五輪開催に必要な予算と、それ以外の恒久的な都市基盤の整備にかかる予算を区別し、開催都市の「負荷」を少なく見せるアピールに精を出した。五輪という錦の御旗の下、空港や高速道路の整備、拡張などを進めるのは構わないが、丸ごと五輪予算に計上され、IOCが悪者にされては困るという論法だ。

3日から始まったIOCの理事会では、中間報告として東京大会では49項目で節約が実現し、さらに41項目が見込まれると公表。東京の大会組織委は4日、運営面の見直しで、さらに約2200億円削ったと報告した。東京大会でも、肥大化五輪のレッテルは貼られたくない。そんな思惑がにじむ。(編集委員・稲垣康介)

■ 態勢面にも指摘 ドーピング検査員不足/水素ステーション利用進まず

検査院は、複数の事業について、本番に向けて人材が不足していたり設備が計画通り使われていなかったりといった指摘もした。

17年度までの5年間に約10億円が文部科学省から支出された「アンチ・ドーピング対策の体制整備」。ドーピング検査員の人材育成も事業対象だが、検査員は13年度から毎年減少し、17年度には59人減の269人となっていた。文科省は大会までに450人程度の検査員が必要としている。検査院はこれについて人材不足を指摘。文科省は新規認定者を増やしていくという。

燃料電池車の普及を目指し、五輪に向けて整備を進めようとしている「水素ステーション」は、経済産業省が民間企業に費用の一部を負担する形で17年度までに計約180億円を出し、全国に98カ所の商用ステーションが設置された。ただ、17年度に70カ所の利用実績を検査院が調べると、62カ所が計画の50%に達していなかった。

また、文科省が計1600万円を出して「日本サイクルスポーツセンター」に設置した自転車競技用測定機器3台は、17年11月までの2年半に一度も使われていなかった。(高橋淳)

■ 会計検査院が指摘した五輪関連の主な事業(2013~17年度の施策・事業ごとの支出額)

【文部科学省】

- 競技力の向上 456億円
- 国内アンチ・ドーピング活動体制の整備 10億円

【国土交通省 など】

- 道路輸送インフラの整備 1389億円
- アスリート・観客の暑さ対策の推進 374億円
- バリアフリー 対策の強化 304億円

【警察庁 など】

- 大会運営に係るセキュリティの確保 69億円

【厚生労働省】

- 感染症対策の推進 44億円

【法務省】

- 出入国審査の円滑化 52億円

中3男子を大麻所持容疑で逮捕 校内で使い、ふらつく?

ソーシャルランキング

もっと見る

フェイスブック

はてなブックマーク

- 1 柴山文科相、教育勅語に言及 2359
- 2 1千人の高校生、学費払えず 1309
- 3 玉城デニー氏が辺野古訪問 991

Facebook

Twitter

記者ページ

注目コンテンツ

ご案内

【&BAZAAR】

炊くだけで糖質33%もカット

これなら糖質制限できるかも!



【&TRAVEL】

清津峡の奇観独り占めの温泉

楽しいひとり温泉



【&M】

試写会に10組をご招待

映画『search/サーチ』



【&w】

フムスで作るデザートレシピ

フムスのアイデアレシピ



好書好日

喫茶店愛から生まれた新商売

村田商會がつなぐ「人の記憶」



WEBRONZA

冷たい内戦に突入した米国

今日の編集長おすすめ記事



アエラストイルマガジン

おもてなしゴルフのススメ②

ターフで見せるセンスの良さ



T JAPAN

松茸に合う日本ワイン

数量限定ワインの優先販売も!



GLOBE+

自分をどう差別化するか

中国トップエリート意外な選択



sippo

少年院の犬訓練プログラム

少年の閉ざされた心を開く



卓球の張本選手と小学生との課外授業を紹介

独立を意識したら 朝デジ会員なら簡単登録!

大学受験 2019年4月 学部学科の新設、改編特集

MBA、夢じゃない 社会人大学院

スポラな私も自宅で出来た「白髪染め」とは?

初心者のための長期投資講座「投資」とは?

理工系女子のお仕事体験をしよう! /